

令和元年度第4回ギャンブル等依存症対策研究会 議事要旨

日時：令和2年2月18日（火）午後2時から4時

場所：国民会館武藤記念ホール 小ホール

出席委員：井上研究委員、木戸研究委員、西村研究委員、河本専門委員、寺田専門委員、三宅専門委員

関係部局：IR推進局、府こころの健康総合センター、大阪府精神医療センター、市こころの健康センター、府健康医療総務課、府地域保健課

<議事>

1) 実状把握（アンケート調査）結果について

*府こころの健康総合センターから、「ギャンブル等の問題でお困りの方（本人）の状況についてアンケート調査結果概要について説明後、意見交換

（主な意見）

- ・ 調査をする際には、母集団の内容、回答者に代表性があるかという視点を意識した調査とすることが重要。

2) 事業者に求める対策について

*IR推進局から、IR事業者に求める対策の中で、府市独自に求める①本人申告による利用上限設定②24時間365日利用可能な相談体制の整備について説明後、意見交換

（主な意見）

【本人申告による利用上限設定について】

- ・ 利用上限設定は、簡単に登録が出来て簡単に変更できる、臨機応変なシステムが良い。
- ・ 上限設定の申込者が申請するに至ったかを把握することも大事。

【24時間365日利用可能な相談体制の整備について】

- ・ 事業者には、アドバイスに加えて、背景の疾患を見分け、適切な場所に案内するアドバイザーを常勤で雇ってもらえるとよい。
- ・ 人材育成は時間がかかるため、現時点から、行政・民間含めてカウンセラーの育成が必要。

3) 来年度の事業内容について

*IR推進局から来年度の府の依存症対策事業について、説明後、意見交換

（主な意見）

【来年度事業について】

- ・ 普及・啓発では、RG（責任あるゲーミング）の話に加えて、ギャンブル障害の怖さを伝える、という視点があるといいのではないかと。RGに重点を置いた普及啓発・予防も検討

が必要。

- ・ 実態調査は開業前後だけでなく、開業前に2時点とらないといけない。元々の変化量についてのエビデンスとなる。

4) 来年度の研究会予定について

*IR 推進局から、来年度の研究会の研究テーマや開催スケジュールについて説明。委員からの意見なし。